

学力向上に向けて先生方をお願いしたいこと

米原市教育センター

全国学力状況調査や米原市の学力状況調査の結果分析によると、学校質問紙・児童生徒質問紙において学力と関係のある項目が多く見られました。

学校、家庭での取組により、学力向上につながると考えられる特に大切な項目について「まなびに向かう 12 か条」にまとめました。先生・子ども・家庭が協力して子どもたちの学力向上に取り組んでいきましょう。

<<先生をお願いしたいこと>> 学学調査の結果より

(1)「ふりかえり」から「めあて」授業の流れを大切にしましょう。

授業の始めに学習のねらいを明確に示し、授業の終わりに子ども自身に学んだことを振り返ることで、子どもたちが見通しをもって粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる主体的な学びを実現しましょう

(2)「自分」で考える時間を大切にしましょう。

自分で課題を解決する時間を確保し、問題発見・解決を念頭に置いて、学習のつながりを大切にしたい深い学びを実現します。

(3)「友達」と交流する(ペア・グループ)時間を大切にしましょう。

友達と自分の考えを交流して、お互いの考えの良さに気づき、より良い考えを作り出す時間を確保し、他者との関りを通じて自らの考え広げる、深める対話的な学びを実現します。

(4)「学び」の支えとなる様々な工夫を大切にしましょう。

- ① ICT の活用をしましょう。(電子黒板・タブレット・書画カメラ)
- ② 体験活動を充実しましょう。
- ③ まず、教科書をじっくり読みましょう。(教材研究の重要性)
- ④ 板書・ノートを工夫しましょう。
- ⑤ 学習規律を守りましょう。
- ⑥ 教室環境のきれいこしましょう。(特に、黒板周り)
- ⑦ 仲間作り・学級集団作りを大切にしましょう。(生徒会活動・学校行事)

<<子どもたちと一緒にお願いしたいこと>>

学びの虎の巻より

(1) 「あいさつ名人」を育てましょう。

授業のはじまりと終わりを大切にしましょう。

- ① 元気よくあいさつをしましょう。
- ② チャイム1分前行動をしましょう。
- ③ 授業準備などをしましょう。

(2) 「姿勢名人」を育てましょう。

両足の裏をしっかり床につけ、背筋を伸ばし、椅子に深く座りましょう。

- ① 両足の裏を床につけます。
- ② お尻を思いっきり後ろへ突き出します。(いすに深く座る。)
- ③ 腰骨を思いっきり前へ突き出します。(背もたれは使わない。)
- ④ 肩や胸の力を抜き、あごを引きます。
- ⑤ 背筋を伸ばし、手を太ももの上に置きます。(頭上を引っ張られている感じで。)
- ⑥ 軽く目を閉じて静かに深呼吸をします。

(3) 「整理整頓名人」を育てましょう。

机の上には授業で使うものを置き、それ以外は片づけましょう。

筆記用具・ノート・教科書を準備しましょう。

(4) 「話し名人・聞き名人」を育てましょう。

発表はクラス全体・グループ学習の場面でみんなに聞こえる声の大きさと話しましょう。

聞く人も作業をやめて話す人の顔を見て、聞きましょう。そして聞くとともに話すときも笑顔を大切にしましょう。

(5) 「作文名人」を育てましょう。

自分の思いや考えを文章にまとめられるようにしましょう。

資料や図を見て情報を文章にまとめられるようにしましょう。

<<家庭と子どもと一緒にお願いしたいこと>>

学びの虎の巻より

(6) 「生活リズム」を整えましょう。

- ① 決まった時間に就寝・起床をしましょう。
- ② 毎日朝食をとる習慣を付けるようにしましょう。

(7) 「人との関わり」を豊かにしましょう。

- ③ 毎日きちんとあいさつをかわすようにしましょう。
- ④ 地域の人や家族との会話を大切にしましょう。
- ⑤ 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加しましょう。

(8) 「学ぶ姿勢」を作りましょう。

- ⑥ 学習時間を確保しましょう。
- ⑦ 学校で使ったプリントやテストを大切にしましょう。
- ⑧ 本に親しむ習慣をつけましょう。
- ⑨ スマートフォン・携帯電話、ゲーム、テレビの利用についてのルールを決めましょう。